

# ホクコーゲッター®水和剤

■種類名：ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤  
 ■有効成分：ジエトフェンカルブ----- 12.5%  
 チオファネートメチル----- 52.5%  
 ■PRTR法指定物質：チオファネートメチル〔第1種〕----- 52.5%

■登録番号：第17699号  
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
 ■登録初年：1990.11.07  
 ■性状：類白色水和性粉末 45μm以下  
 ■有効年限：4年  
 ■包装：500g×20袋

## 【特長】

- ベンズイミダゾール系薬剤耐性菌に特異的に効果を示すジエトフェンカルブとトップジンMを配合した園芸用殺菌剤。
- 耐性菌が問題となる灰色かび病に効果を示す。
- 果樹から、野菜、豆、花まで適用作物も幅広い。

## 【適用内容】(2016年10月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジエトフェンカルブを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数		
みかん	灰色かび病	1000~2000	200~700 <sup>㍓</sup> /10a	開花期	5回以内	散布	5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、散布、空中散布及び無人機散布は合計5回以内)		
	そうか病	1000~1500		収穫7日前まで				8回以内 (塗布は3回以内、散布は5回以内)		
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	1500~2000		開花期	3回以内			6回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)	8回以内 (塗布は3回以内、散布は5回以内)
	そうか病	1500		収穫21日前まで						4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
ぶどう	灰色かび病	1000~1500	200~700 <sup>㍓</sup> /10a	収穫45日前まで	1回	3回以内	5回以内 (塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は1回以内)			
うめ	黒星病	1000	100~300 <sup>㍓</sup> /10a	収穫21日前まで	1回		種子粉衣	6回以内 (塗布は3回以内、散布は3回以内)		
	灰色かび病	1000~1500		収穫7日前まで				4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)		
かき	落葉病 炭疽病						10回以内 (塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は6回以内)			
いちご	炭疽病	1000	100~300 <sup>㍓</sup> /10a	収穫開始21日前まで	3回以内	散布	6回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)			
だいず	紫斑病	乾燥種子重量の0.5%	-	収穫14日前まで			1回	種子粉衣	4回以内 (種子への処理は1回以内)	
				は種前	4回以内 (種子への処理は1回以内)					
いんげんまめ	灰色かび病	1000~1500	100~300 <sup>㍓</sup> /10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は4回以内)			
	菌核病	1000								
	炭疽病									
えだまめ	紫斑病 莢汚損症	1500		収穫7日前まで	3回以内	3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)			
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病			収穫前日まで	3回以内	3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)			
あずき	灰色かび病	1000~1500	100~300 <sup>㍓</sup> /10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は4回以内)			
	菌核病	1000								
	輪紋病 炭疽病	1500								
たまねぎ	灰色腐敗病	1000		収穫7日前まで	5回以内	5回以内	7回以内 (種子への処理は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、無人機散布は3回以内、散布は5回以内)			

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジイフェルを含む農薬の総使用回数	チオネットフルを含む農薬の総使用回数		
トマト	灰色かび病 菌核病	1000~1500	100~ 300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a	収穫前日まで	5回以内	散布	6回以内	6回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は5回以内)		
ミニトマト	葉かび病	1500			3回以内					
なす	灰色かび病 菌核病 黒枯病	1000~1500			5回以内					
きゅうり	褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病	1500			収穫21日前まで		3回以内		3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
すいか	炭疽病				2回以内		4回以内 (種子への処理は1回以内、灌注は1回以内、散布は2回以内)			
ズッキーニ	灰色かび病				5回以内		5回以内		5回以内	
レタス	菌核病									
花き類・観葉植物 (ひまわり、ゼラニウムを除く)	灰色かび病	—			1000		感染期~ 発生初期		5回以内	5回以内
ひまわり ゼラニウム	灰色かび病 斑点病	—								
樹木類 (ハイドランジア、 やなぎを除く)	灰色かび病	200~ 700 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a								
やなぎ	炭疽病 輪斑病		感染期~ 発生初期							
ハイドランジア	灰色かび病									
キャベツ	菌核病	1500	100~ 300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	3回以内 (種子への処理は1回以内、散布は2回以内)			

#### 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 石灰硫黄合剤、ポルドー液との混用は避けること。
- ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱や果実の汚れを生ずるおそれがあるので注意すること。
- だいたいの紫斑病に対しては、落花後~若莢期に2~3回散布すること。
- きゅうりに使用する場合、高温時の散布では、薬害を生ずる場合があるので注意すること。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用は避け、作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
  - ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
  - ❖ 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
  - ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。